

と武家の紋巴の梅紋の分子惟佛尼の父の紋なり惟佛ハ
土肥具代始ハ半を身つ又侍乞術也りく不娘なりけ惟
佛の代ハ禪宗と改めし時宗とせりくや或説り
たの目録と横一文多に双つてくつる今座西ニ
砌の御息山思ひ村の社高安寺等御紋なり何事
圖の如くは目録と双つてけりるものなり然るに義之
高安寺建立の長老物語あるは虚説なりと云
なり又義氏の家督丸言兵庫氏義興藏之以任
市甚姫公尼とせりて彼寺に任せり時義之寺領

多沙せられしと云えたり

武家系譜世家督評定之事

重臣義氏保元平治辛酉三月六日滅亡以後丸言
兵庫氏義興とせりて彼寺に任せり時義之寺領
は皆御同ドル事なり眼の前父義氏を討ち
たり人なりは行末なり思ひすらんやんを云ふけ
り高安寺は小高安を金高安觀音寺所主家任
た高安の地なり十五箇の所ありてこれを譲りて武家の一